



ど こ で も T C U
募 集 要 項
2026 年 度

2026年3月9日版

目 次 - ページ

1. 「どこでもTCU」の目的 - 2
2. 履修証明プログラム - 2
3. 受講資格 - 2
4. 受講について - 3
 - 1) 受講方法について
 - 2) 学期と授業時間について
 - 3) 受講制限について
5. コース紹介(2026年度) - 4
6. 注意事項 - 6
 - 1) 授業について
 - 2) 単位の取得について
7. 本学(大学院含む)に正規入学後の単位認定 - 7
8. 申込みから受講まで - 8
9. 受講料 - 9
10. 問合せ先 - 10

資 料

- 東京基督教大学 信仰基準 - 11
- 2026年度学事暦 - 12

1. 「どこでもTCU」の目的

本学(TCU)の『理念とミッション』の一つに「開かれた神学教育」があります。

「どこでもTCU」は、本学キャンパス内の教室、またオンラインツールを用いて、日本中・世界中どこからでもTCUの正規科目を受講することができます。

聖書や神学の学びを通し、教会等での宣教や奉仕に、またその働きがさらに地域社会への貢献に繋がることを目的としています。

2. 履修証明プログラム

「どこでもTCU」での学びを体系的にできるよう、学部(学士課程)レベル5コース、大学院(修士課程)レベルコースがあります。もちろん、コースに関わらず 1科目からでも受講可能です。コースの詳細は、「5. コース紹介」にて確認ください。

コース内の科目群から3科目(総時間数 60 時間以上)を履修または聴講(*)したのち、希望者には履修・聴講証明書を発行します。履修証明プログラムの履修期間は原則として3年間です。

*「履修」：授業を受講し、試験を受けて単位取得までを目指す

「聴講」：授業を聴講するだけで、単位取得を目指さない

3. 受講資格

受講資格は、以下のすべてを満たす方です。

- ・本学の[信仰基準](#)に同意するキリスト者 (* 11 ページ「東京基督教大学信仰基準」参照)
- ・大学入学資格がある者 (大学院科目受講希望者は大学院入学資格がある者)
- ・受講に必要な最低限の IT スキルを有する者、または身近に IT サポートができる者があること。
- ・日本語能力
履修：日本語能力試験 N1 レベル程度の日本語能力がある者
聴講：日本語能力試験 N2 レベル程度の日本語能力がある者

下記について該当する場合は、加えて条件を満たす必要があります。

- ・大学院科目受講希望者
神学の基礎的な知識があることが望ましい。また、「聖書学研究」の科目受講希望者は、聖書言語の知識を有する者。
- ・日本国内在住の外国籍の方
正規の在留資格を有する者。
* 本プログラムでは、在留資格「留学」は取得できません。

4. 受講について

1) 受講方法について

受講方法は以下の4種類です。受講方法は、原則として学期が始まってからの変更は受け付けません。

① オンラインでの受講

[リアルタイム履修(単位取得あり)]

- ・ 正規学生と同じ時間に zoom(*)を用いて授業をオンライン受講する方法です。受講に関する情報提供や課題の提出などには、本学の学修システム「TCUオンライン」を使用します。(受講許可後に、ガイドに従って各自で初期設定を行っていただきます。)

* zoom: オンライン会議システム

- ・ 単位の取得を目指すため、レポート課題の提出、試験の受験、その他必要な要件を満たす必要があります。

[オンデマンド聴講(単位取得なし)]

- ・ 録画された授業の動画を、それぞれ都合の良い時間に視聴し、自分のペースで学ぶ方法です。(録画視聴期間は受講学期間ですが、次の受講案内メールが届く前に視聴されることをおすすめします。)担当教員または担当者から送られる受講案内メールから、授業録画を視聴し、視聴確認フォームの提出を行います。
- ・ 単位取得を目指さないため、期末の成績評価の対象になりません。学期中や期末の課題は課されず、試験の受験資格もありません。

② 対面(教室)での受講

[対面での履修(単位取得あり)]

- ・ 正規学生と同じ時間に、本学キャンパス内の教室で受講します。受講に関する情報提供や課題の提出などには、本学の学修システム「TCUオンライン」を使用します。(受講許可後に、ガイドに従って各自で初期設定を行っていただきます。)
- ・ 単位の取得を目指すため、レポート課題の提出、試験の受験、その他必要な要件を満たす必要があります。

[対面での聴講(単位取得なし)]

- ・ 正規学生と同じ時間に、本学キャンパス内の教室で受講します。受講に関する情報提供は、本学の学修システム「TCUオンライン」を使用します。(受講許可後に、ガイドに従って各自で初期設定を行っていただきます。)
- ・ 単位取得を目指さないため、期末の成績評価の対象になりません。学期中や期末の課題は課されず、試験の受験資格もありません。

2) 学期と授業時間について

- ・本学は3学期制で、学期期間は以下のとおりです。
(授業日等については、12 ページ「2026 年度 東京基督教大学 学事暦」参照)

春学期：2026 年 4 月 8 日(水)～2026 年 7 月 1 日(水)

秋学期：2026 年 8 月 24 日(月)～2026 年 11 月 11 日(水)

冬学期：2026 年 11 月 23 日(月)～2027 年 2 月 25 日(木)

- ・各学期の授業は 10 週(週 1 回)、1 回の授業は 140 分
聖書言語は 10 週(週 2 回)、1 回の授業は 70 分

1 限	8:40 - 9:50	2 限	9:55 - 11:05
3 限	13:00 - 14:10	4 限	14:15 - 15:25
5 限	15:45 - 16:55	6 限	17:00 - 18:10

3) 受講制限について

以下の単位数を超えて授業を履修・聴講することはできません。

- ・学部：履修・聴講それぞれ、1 学期につき 10 単位、累計で 30 単位
 - ・大学院：履修・聴講それぞれ、1 学期につき 10 単位、累計で 20 単位
- ※単位認定については「7. 本学(大学院含む)に正規入学後の単位認定」をご確認ください。

5. コース紹介(2026 年度)

開講科目は年度ごとに異なります。2026 年度の聖書言語は、ヘブライ語のみの開講となります。各科目のシラバスはコース紹介の科目名をクリック、もしくは「Web シラバス」から確認いただけます。

以下に当てはまる場合は、直接担当までお問合せください。

- ・教団等の教職者試験受験予定者で、試験に必要な科目を受講したい
 - ・本学の卒業生及び在学生の配偶者で、どこでも TCU 対象科目以外の科目を受講したい
- ※ 担当教員の許可がおりた場合に、対面でのみ受講が許可されます。

本学 Web シラバス

<https://syllabus.tci.ac.jp/>



1) 学部コース (5 コース)

科目名をクリックすると各科目のシラバスを閲覧できます。

コース名	[学部] 聖書		
概要	聖書の成り立ちや著者、またその歴史的背景や旧・新約聖書の関係性、さらには聖書の各書の基本的内容といった「聖書学のベーシック」を学ぶコースです。		
科目群	科目名	担当教員	学期・曜日・時間
	キリストと世界Ⅱ (旧約) ※	佐藤 潤	春・水曜・1-2 限
	キリストと世界Ⅲ (新約) ※	伊藤 明生	秋・水曜・1-2 限
	歴史神学Ⅲ (旧約聖書史/考古学)	菊池 実	春・金曜・3-4 限

※「キリストと世界」は本学主要授業科目のため、学部入学を検討している場合は入学後に履修ください。

コース名	[学部] ヘブライ語		
概要	聖書原語に挑戦しましょう。旧約聖書の言葉であるヘブライ語の文法を1年かけて学び、新約を含めた聖書の全体の深みを味わうクラスです。		
科目群	科目名	担当教員	学期・曜日・時間
	ヘブライ語1 (文法1)	菊池 実	春・火, 金曜・2限
	ヘブライ語2 (文法2)		秋・火, 金曜・2限
	ヘブライ語3 (文法3)		冬・火, 金曜・2限

※「リアルタイム履修」の募集はありません。(「オンデマンド聴講」「対面」のみ)

コース名	[学部] 神学		
概要	聖書とはどのような本か? 「神学を学ぶ」とはどういうことか? 教会は神ご自身や人間存在について何を教え、また歴史の中でどのように生きてきたのか? このような問いかけに対して「神学的」に考察するコースです。		
科目群	科目名	担当教員	学期・曜日・時間
	キリストと世界I (神学) ※	岡村 直樹	冬・木曜・1-2限
	組織神学I (神論・人間論・キリスト論)	齋藤 五十三	秋・月曜・5-6限
	歴史神学VI (日本キリスト教通史)	山口 陽一	冬・木曜・3-4限

※「キリストと世界」は本学主要授業科目のため、学部入学を検討している場合は入学後に履修ください。

コース名	[学部] ユースミニストリー		
概要	ユース(10歳~20歳の若者)の信仰成長や信仰形成の様子、また彼らの心理性や文化について学びます。さらにミニストリーという言葉の理解を通して、より良く彼らに寄り添うすべを学ぶコースです。		
科目群	科目名	担当教員	学期・曜日・時間
	キリスト教教育I (神学と理念)	徐 有珍	春・木曜・1-2限
	ユース・ミニストリーI (神学と実践)	岡村 直樹	秋・水曜・5-6限
	ユース・ミニストリーII (思春期の理解)	徐 有珍	冬・木曜・1-2限

コース名	【学部】 教会と社会		
概要	日本は多文化共生社会に移行しつつあります。私たちは「文化」や「異文化」の課題にどう向き合えばいいのでしょうか。「異文化」は男性と女性の間にも存在します。2026年度の科目提供は、こうした課題をキリスト教の視点から学んでいきます。		
科目群	科目名	担当教員	学期・曜日・時間
	グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化)	森田 哲也	冬・金曜・3-4 限
	グローバル・スタディーズ I (異文化理解)	篠原 基章	冬・水曜・3-4 限
	社会科学Ⅱ (女性と社会)	岩田三枝子	冬・金曜・1-2 限

2) 大学院コース

概要	キリスト教神学の土台である聖書の解釈を学ぶ「解釈学」、聖書の背景を学ぶ「緒論」を始め、聖書の内容の歴史における展開を扱う三科目「教理形成の歴史」や「宗教改革史」「日本キリスト教史」、さらには神学の果実を実践に活かす「人間理解とミニストリー」「キリスト教と心理」の実践二科目等の合計七科目を大学院レベルで提供するコースです。 *「解釈学」は、「オンデマンド聴講」の募集はありません。		
科目群	科目名	担当教員	学期・曜日・時間
	聖書学研究Ⅰ (解釈学)	伊藤明生	春・火曜・1-2 限
	聖書学研究Ⅱ (緒論)	伊藤明生 公文 光	春・金曜・1-2 限
	神学・教会研究Ⅰ (人間理解とミニストリー)	岡村直樹	春・木曜・3-4 限
	神学・教会研究Ⅲ (キリスト教と心理)	岡村直樹	秋・木曜・3-4 限
	神学・教会研究Ⅶ (キリスト教の教理形成の歴史)	齋藤五十三	春・火曜・3-4 限
	神学・教会研究Ⅵ (宗教改革史)	須藤英幸	冬・火曜・3-4 限
	神学・教会研究Ⅹ (日本キリスト教史)	山口陽一	秋・金曜・3-4 限

6. 注意事項

以下の事を確認、了承のうえ、申込みを行なってください。

- 都合により、開講科目について変更が生じる場合があります。変更が生じた場合等、申込み時に登録

されたメールアドレスや電話番号に連絡しますので、連絡が取れる状態にしておいてください。

- ・連絡が取れない場合、次学期から受講をお断りする事があります。
- ・授業の質を担保するため、科目ごとに受講人数の制限があります。また、オンラインでの履修と聴講の申込みが3名に満たなかった場合は、対面受講のみの受入れとなることがあります。

1) 授業について

- ・授業開始前あるいは受講期間中に授業実施形態、担当教員、開講曜日、時限等が変更になる場合、また閉講になる場合があります。
- ・本学(大学院)では少人数教育が行われており、学びの共同体と信頼関係の形成のため、クラス開始時には自己紹介の時間が設けられる場合があります。(匿名での授業参加はできません。)
- ・受講科目の運営に支障をきたすような行為や直接的・間接的を問わず他の正規学生の受講を妨げるような行為がなされたらと大学が判断した場合には、その後の受講資格が失われることがあります。
- ・受講生からの、本学が正規学生へ行なう標準的的教学支援事務対応レベルを超えた過度な要望等には対応できかねます。

2) 単位の取得について

- ・成績評価は本学(本大学院)の正規学生と同じく、原則として100点満点で行い、以下の基準により判定し合格の場合にのみ単位が与えられます。(評価のFは不合格で、単位取得となりません。)
- ・取得した単位については、本学(本大学院)へ正規入学後に認定が可能ですが、他大学での認定については、保証できかねます。認定を希望する大学にお問合せください。

評点(点)	評価	合否(単位)
100-95	A	合格(単位取得)
94-90	A-	
89-87	B+	
86-83	B	
82-80	B-	
79-77	C+	
76-73	C	
72-70	C-	
69-65	D+	
64-60	D	
59-0	F	不合格(単位取得なし)

- ・どこでもTCUの履修生も、成績証明書を発行することが可能です。本学Webページ「[お問い合わせ\(教務課・各種証明書申請\)](#)」より申請ください。

※発行手数料・郵送料がかかります。

7. 本学(大学院含む)に正規入学後の単位認定

本プログラムで取得した単位は、本学(大学院含む)に正規入学した際、受講者の申請により、入学課程の卒業(修了)に必要な単位数として算入することができます。ただし、大学院科目の単位認定の上限は15単位までです。受講制限の上限数とは異なりますのでご注意ください。

また、その受講料は入学後に奨学金として支給します。(ただし、単位を取得できた場合のみで、支給額は入学年度の授業料を超えない事とし、支給方法は学生納付金の授業料と相殺となります。)

なお、単位を取得する事を目指す聴講については、本学(大学院含む)に正規入学しても、奨学金支給の対象とはなりません。

8. 申込みから受講まで

受講希望の方は、オンライン(インターネット)上の本学 Web ページからお申込みください。

大学院科目の「リアルタイム履修」、「対面(教室)での履修」を希望する場合は、Web ページからの申込みに加え、以下3つの手続きが必要です。(提出期間：受講申し込み期間に同じ)

- ・ 審査料(5,000円)の納入 ※1・※2
- ・ 受講理由(500～800字程度) 受講申込みフォームに入力
- ・ 最終学歴の卒業(修了)証明書と最終学歴(または神学教育)の成績証明書の提出 ※2

※1 お申込み確認後、振込先口座をご案内します。

※2 前身校含む本学の卒業生は、審査料と証明書の提出は不要です。受講理由のみご提出ください。

本学「どこでも TCU」Web ページ

https://www.tei.ac.jp/theology_department/non-degree/docodemotcu.html



【オンラインからの受講申込期間】

春学期受講分：2026年3月6日(金)～3月19日(木)正午

秋学期、冬学期受講分：2026年7月16日(木)～7月31日(金)正午

申し込みの際に提供された氏名、住所、その他の個人情報、本プログラムの実施に必要とされる範囲、またはこれらに付随する事項を行なうために適正な範囲で利用し、上記の目的以外に利用することはありません。

申し込みの流れ

[受講希望者] 受講申込み

「どこでも TCU」Web ページにある申し込みフォームから情報を入力ください。(氏名、希望受講科目、所属教会 等)

* 所属教会確認のため、牧師等のメールアドレスが必要です。

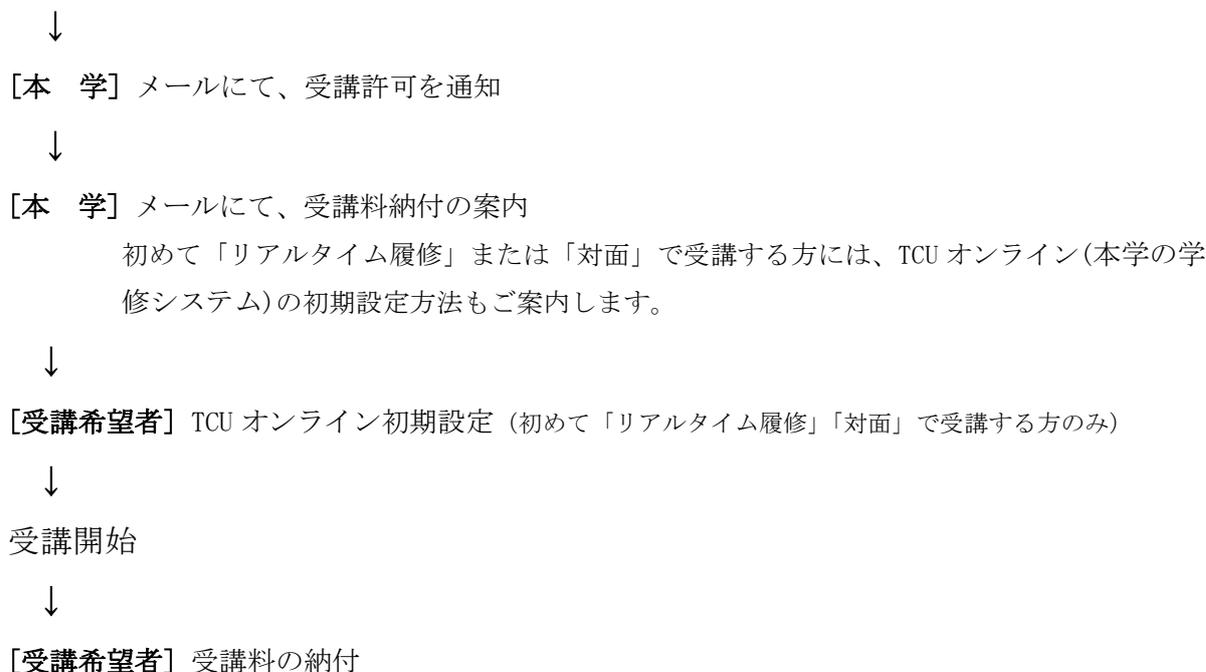
神学生は在籍する神学校確認のため、神学校の代表者等のメールアドレスが必要です。

* 大学院科目の履修希望者は「8. 申込みから受講まで」に記載の手続きを併せて行ってください。



[受講希望者] 自動送信される、申し込みの回答メールを確認

* お申し込み内容に間違いがないか、必ずご確認ください。



9. 受講料

学部科目	リアルタイム履修 対面での履修	オンデマンド聴講 対面での聴講
一 般	45,000 円	36,000 円
支援会員(*)	40,000 円	31,000 円
神学生及び(*) 本学学生の配偶者	20,000 円	15,000 円

大学院科目	リアルタイム履修 対面での履修	オンデマンド聴講 対面での聴講
一 般	65,000 円	52,000 円
支援会員(*)	60,000 円	47,000 円
神学生及び(*) 本学学生の配偶者	30,000 円	25,000 円

* 支援会員：東京キリスト教学園に献金を頂いた方（献金額は自由）

支援会員の期限は、入会いただいた当該年度から次の年度までを有効

* 学生の配偶者は6単位を超えた場合

* 神学生：原則として福音主義神学校協議会の加盟校及びオブザーバー校に在籍する方

受講料は1科目当たりの金額です。支払い方法は、指定口座への振り込みまたはクレジットカード決済から選べます。

授業開始から第2週以降に受講取消しをされた場合の受講料返金はいたしかねます。申込みの前に、受講内容や諸注意をよくご確認ください。

東京キリスト教学園の卒業生には、TCI 同窓会より補助があります（ただし、人数に限りあり）。補助の支給については、受講料の通知の際に対象者にお知らせします。

10. 問合せ先

東京基督教大学 教務部 「どこでもTCU」担当

〒270-1347 千葉県印西市内野 3-301-5-1

Email nondegree@tci.ac.jp

TEL 0476-46-1131

FAX 0476-46-1405

本学が基準とする信仰は、旧・新約聖書に一貫して啓示され、古代公同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを目指す福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の9箇条に述べるとおりです。

1. 66巻からなる聖書は、聖霊の完全な靈感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。したがって、聖書の記述には、誤りはありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとしたすべてのことを含み、信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。
2. 生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であります。
3. 神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。
4. 人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。
5. わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であります。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。
6. 主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで、主を信じる者はみな、罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。
7. 聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活をおくる力を与えて、キリストのかたちに似る者としてくださいます。
8. 教会は、そのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。
9. わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれの肉体をもってよみがえらされ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たに、み国を父なる神におわたしになります。